金融商品の時価等の注記事項

１．金融商品の状況に関する事項

本学は、資金運用にあたっては国立大学法人法第35条の２が準用する独立行政法人通則法第47条及び国立大学法人法第33条の５第２項の規定に基づき、預金、Ａ格以上の社債等の満期保有目的債券を保有しております。なお、当該資金運用は、信用リスク等を包含しておりますが、資金運用に関する諸規程に基づき適切なリスク管理を実施し、資金の運用状況や管理業務の実施状況を監視するため設置された資金運用管理委員会に報告をしております。

２．金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりです。なお、現金及び預金、未払金は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略しています。

（単位：円）

	①貸借対照表計上額（＊１）	②時価（＊１）	差額②－①（＊１）
⑴　リース債務	(261,307,547)	(264,246,675)	(2,939,128)

（＊１）負債に計上されるものについては、(　) で示しています。

（注１）時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

金融商品の時価を、時価算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の三つのレベルに分類しています。

レベル１の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル２の時価：レベル１のインプット以外の直接又は間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル３の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

⑴　リース債務

リース債務の時価については、元利金の合計額と、当該債務の残存期間及び信用リスクを加味した利率を基に、割引現在価値法により算定しており、レベル２の時価に分類しています。

国立大学法人等の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコストに関する注記事項

（単位：円）

Ⅰ　業務費用		
⑴　損益計算書上の費用	11,917,431,148	
⑵　（控除）自己収入等	△5,176,752,141	
業務費用合計		6,740,679,007
Ⅱ　資本剰余金を減額したコスト等		696,987,671
Ⅲ　機会費用		
政府出資の機会費用	797,034,153	797,034,153
Ⅳ　（控除）国庫納付額		0
Ⅴ　国立大学法人等の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコスト		8,234,700,831

国立大学法人等の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコストの注記における機会費用の計上方法

⑴　政府出資等の機会費用の計算に使用した利率

10年利付き政府保証債の令和８年３月末利回りを参考に2.345％で計算をしています。

賃貸等不動産の時価等に関する注記事項

100周年キャンパス整備・運営事業により取得した大学施設の賃貸による収入は本学には帰属しないため、大学施設の時価等の注記は行っていません。また、その他の賃貸等不動産についても重要性が乏しいため注記を省略しています。

資産除去債務の注記事項

資産除去債務の概要

本学が保有する建物に含まれるアスベスト及び建物附属設備に含まれるフロンについては、当該有形固定資産を除却する際に、法律に基づき特別の方法で除去するという義務を有しています。

当該有形固定資産を除却する場合の財源と時期については、文部科学省等が総合的判断を考慮して措置することになるため、本学の意思のみで決定することはできず資産除去債務を合理的に見積もることができないことから、これまで資産除去債務を計上しておりませんでした。

当事業年度において、処理済の建物及び建物附属設備を除いた全ての建物及び建物附属設備について、当該有形固定資産の償却終了日時点でアスベスト及びフロンの処理が必要であると保守的に仮定して、直近の工事実績等から処理費用を見積った結果、当該金額が本学の財政状態及び経営成績に与える影響は重要でないものと判断いたしました。このため、当事業年度においても重要性の原則に基づき資産除去債務を計上していません。

重要な後発事象

該当ありません。

貸借対照表の注記事項

１．その他固定負債は、100周年キャンパス整備・運営事業により令和39年３月31日まで民間事業者が施設を運営できることを条件として負担付贈与を受けた施設に係る未履行債務であり、当該施設運営権の当事業年度末買取価格相当額です。

２．運営費交付金から充当されるべき退職給付見積額は3,846,181,231円です。

３．翌年度の運営費交付金から充当されるべき賞与見積額は351,693,069円です。

損益計算書の注記事項

臨時利益に計上した、前期損益修正益27,394,310円は、過年度の特許権及び工業所有権仮勘定残高の修正によるものです。

キャッシュ・フロー計算書の注記事項

１．資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳は，以下のとおりです。

（単位：円）

科　目　名	資金期末残高
現　金　及　び　預　金	5,809,063,207
定　期　預　金	△1,610,000,000
合　計	4,199,063,207

２．重要な非資金取引

⑴　ファイナンス・リースによる資産の取得	236,348,860円
⑵　現物寄附による固定資産の取得	141,963,810円
⑶　現物寄附による少額物品の取得	65,900,766円

減損損失関係

１．減損を認識した固定資産

⑴　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

（単位：円）

用　途	種　類	場　所	帳簿価額
五思寮	建物	東京都調布市	50,719,695